

■ごあいさつ

なぜ子どもは人形劇が好きなのでしょう？

どうしてあんなに無心になって人形劇を楽しめるのでしょうか？

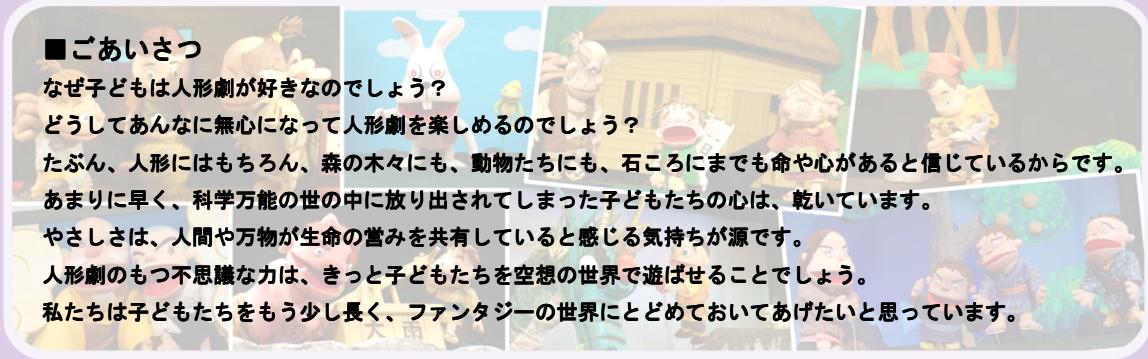
たぶん、人形にはもちろん、森の木々にも、動物たちにも、石ころにまでも命や心があると信じているからです。

あまりに暑く、科議会の世の中に放り出されてしまった子供たちの心は、乾いています。

ぬましまは、人間や万物が生命の営みを共有していると感じる気持ちが源です

人形劇のまつ不思議な力は、きっと子どもたちを空想の世界で遊ばせることでしょう。

私たちは子どもたちをもう少し長く、ファンタジーの世界にとどめておいてあげたいと思っています



棒をつかむと、浜辺に向かって山を下り始めました。キバもあわてて後を追いかけます。

良太の住む浜辺の村には、また高波がやつてくるのでしょうか。そして、海に向かつたキバと父鬼は、一体どうなつてしまふのでしょうか……。

洞穴に帰つたキバが良太と友達になつたことを
うれしそうに話すのを、父鬼はひどく怒つて、黙り
込んでしまいました。…そのとき、ロウソクの灯がかすかに揺れました。すると父鬼は「嵐だ、嵐が来る」とつぶやきました。「たいへんだ！」と叫んで外へ飛び出そうとするキバを引きとめ、父鬼は金棒をつかむと、浜辺に向かつて山を下り始めました。キバもあわてて後を追いかけます。

良太の住む浜辺の村には、また高波がやつてくるのでしょうか。そして、海に向かつたキバと父鬼は、一体どうなつてしまふのでしょうか……。

お問合せ・お申込みは…

とまる人形劇団

一般財団法人とらまる人形劇研究所

〒712-8014 岡山県倉敷市連島中央1丁目11-7

TEL 086-486-1305 E-mail:puppet@toramaru.link

FAX 086-486-1306 http://toramaru.Link



劇団員募集中！
詳細はHPで…

詳細はHPで…

■上演の手引き

- ・会場に特別なステージは必要ありません。
 - ・舞台には間口 5.4m × 奥行 4.5m × 高さ 2.7m位のスペースが必要です。
 - ・上演に必要な機材はすべて持ち込みます。
 - ・電気の容量は 20A (アンペア) 程必要です。
 - ・上演効果をあげるため、暗幕をご用意下さい。
 - ・上演時間は約 60 分で、準備に 90 分、片付けに 60 分程度かかります。
 - ・1 回の公演定員は 150 名までが適当です。
 - ・上演料は観客数、距離によって異なりますので、お問い合わせ下さい。
 - ・ご予約はお早めに……。



りょう太と鬼の子キバ

土佐の民話『海に沈んだ鬼』より

土佐の久礼、今の四国の高知県に伝わる昔話です。黒潮の海に面した久礼は、カツオやサバやイワシなど、海の幸に恵まれた漁師の村でした。

土佐の久礼、今の四国の高知県に伝わる昔話です。黒潮の海に面した久礼は、カツオやサバやイワシなど、海の幸に恵まれた漁師の村でした。

キバを光らせた鬼の子どもが立っていました。おじいさんは「こ、この子の両親が、こ、この間の嵐で高波にさらわれて、い、命を落としたので、その墓参りじやき」と言うが早いか、男の子の手を引いて「オ、オニが出たじやあ！」と、こけつまろびつ逃げて行きました。

山の奥の洞穴へ歸つた子

■ とらまる人形劇団とは…

2003年からの10年間、香川県東かがわ市にあった日本で唯一の「人形劇学校 “ペベットアーク”」。この学校は財団法人とらまる人形劇研究所によって運営され、様々な取り組みを行ってきました。「とらまる人形劇団」はその人形劇学校の卒業生によって2005年に財団附属の専門人形劇団として旗揚げし、2013年4月から岡山県倉敷市に拠点を移しました。今年で結成21年目を迎えます。人形劇表現の追求と、地域に根ざした活動を目指す「とらまる人形劇団」に、どうぞご期待下さい。

上演や製作の様子は SNS にて
随時更新中！ぜひご覧下さい。

